

*兄さんの帰りを見送る短いお話です
名残惜しいような、そんな雰囲気です

『それじゃあ叔母さん、兄さんを駅まで見送ってきますね』

『さつ兄さん、行くよ』

『それにもあつという間だつたね
帰つてきたその日に縁談して、次の日には川に行つて花火大会』

『どう? 身体は疲れたまんまだと思うけど、心の方は十分に休めたでしょ?』

『だつて、駅で見た時と今の表情全然違うもん』

『うん! やっぱり今の方がいい顔してる』

『こうなるならやっぱり定期的に帰つてきた方がいいと思うけど…』

『あつ、もう駅に着いた

寄り道しないとやっぱり近いね』

『私の見送りはここまで

兄さん、今年は帰つてくれてありがとね

本当、感謝してる』

『向こうに帰つたらちゃんと連絡してね?

それから同居する件、その返事も待つてるから』

『ああ、もう電車来ちゃつた

これ逃したら次は1時間後だからもうお別れだね』

『連絡、待つてるからね

ばいばい』